

科目名	家庭基礎	学年	1年 類：Ⅱ・ Ⅰ・S類	使用教材	【教科書】 実教 家庭基礎 パートナーシップでつくる未来
		単位数	単位2		【副教材】 なし

○学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。
 また、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。
 基礎的な知識や技術を習得し、男女が協力し自分から進んで生活を創造する態度を身につける。

○評価

授業への姿勢（私語や服装や実習への臨み方、ノートや作品提出・内容等）40%
 定期考査（中間・期末）60%

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	2編 2章 衣生活をつくる ・ 燃焼実験 ・ 被服製作実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション(self introduction 授業内容について等) ・ 被服材料、被服の構成、被服製作、被服整理などについて科学的に理解し、衣生活を充実させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、衣生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ・ 被服製作実習を通して、基本的な生活技術を身に付けます。
2	3編 1章 消費行動を考える 2章 経済的に自立する 2編 1章 食生活をつくる ・ 調理実習 1編 1章 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動するために必要な知識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ・ 栄養、食品、調理などについて化学的に理解し、食生活を充実向上させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、食生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ・ 人の一生を生涯の発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族家庭と社会との関わりについて理解を深め、現在及び将来の生活のあり方を考えるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家族・家庭のあり方、各自の将来の生活構想などについて課題を見つけ、その解決をめざして、思考を深めます。
3	1編 1章	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達と保育、子どもの福祉などについて理解を深め、

<p>自分らしい生き方と家族</p> <p>2章</p> <p>子どもとかかわる</p> <p>3章</p> <p>高齢者とかかわる</p> <p>4章</p> <p>社会とかかわる</p> <p>2編 3章</p> <p>住生活をつくる</p>	<p>子どもの健全な発達と支える親や社会の果たす役割について認識するための知識と子どもと適切に関わることや子どもの健全な発達を支援するために必要な技術を身に付けます。また、子どもの心身の発達や生活と遊び、親の役割と子どもの人間形成などについて現代の家庭や地域の生活を見つめて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解を深め、高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす役割について認識する
---	---